

# 研究部ニュース 2022年度第2号

2022年12月22日(木)

発行者：研究部

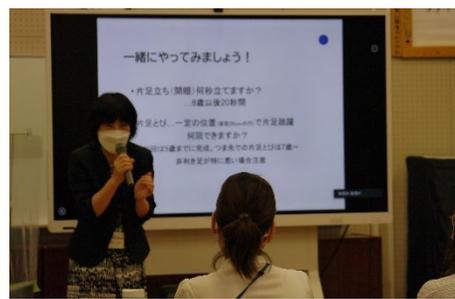
平素は本校の教育及び研究活動にご協力いただきありがとうございます。9月から始まった2学期もまもなく終了です。研究活動も順調に進めています。

## エクステンション研修について

7月28日(木)、29日(金)の二日間で合計4講座の研修会を開催しました。各講座の内容の報告は、本校ホームページの<各分掌>⇨<研究部>よりご覧ください。エクステンション研修では、地域の特別支援教育の専門性を向上するための研修として、本校教職員のみならず、大阪府下を中心に広く参加を呼びかけています。

新型コロナウイルスの影響が残る中での開催でしたが、感染症対策を整えて、オンラインと対面のハイブリットで研修を実施しました。1学期の実践を振り返りながら学ぶ貴重な時間になりました。

講師の先生をはじめ、たくさんの方々にご参加いただき、無事に開催できましたことに感謝申し上げます。また、来年度も本校のセンター的機能の一環として継続して実施します。



## 五校園共同研究発表会について

附属平野五校園では、今年度より『一人ひとりの多様な可能性を広げる評価の在り方(2)～主体性が働く【探究学習】プログラムの学習評価のモデル開発をめざして～』という新たな研究主題を設定し3年間にわたり平野五校園が協同的に研究を進めています。2年次にあたる今回の共同研究発表会では幼稚園、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校がこれまで取り組んできた実践を「リフレクション」という観点で分析し、各校園版のコモン・ループリックを起こすことを目的として各校園で実践を行い、オンラインを活用しての協議を行ってきました。

11月5日(土)に開催された平野五校園共同研究発表会では、本研究の主幹校である附属幼稚園から基調提案がされた後、各校園の研究発表を行いました。幼稚園からは『幼児の探究する姿の中でみられるリフレクション』、小学校からは『「未来そうそう科」における探究学習と自己評価としてのリフレクション』、中学校からは『～総合的な学習の時間～探究学習における「リフレクション」』、高等学校からは『高校の探究学習における「リフレクション」ループリック』、本校からは『「自分から気づき行動にうつす」という観点での子どもの育ちと教師の関わりについて』をテーマにした内容になりました。

各校園の発表後には、本学教員養成課程学校教育部門 准教授 八田幸恵先生より「探究学習のプログラムと形成的評価論の動向」と銘打ったご講演を賜りました。発表会後のアンケートでは参会者の皆様からご助言と温かいお言葉をいただきました。

平野五校園共同研究も今年度で18年目を迎えました。研究発表会までに至る五校園での研究協議はオンライン形式でしたが、研究発表会は、附属平野小学校で対面実施することができました。次年度の本研究最終年に向けて、附属平野五校園で力を合わせて研究に邁進したいと考えています。

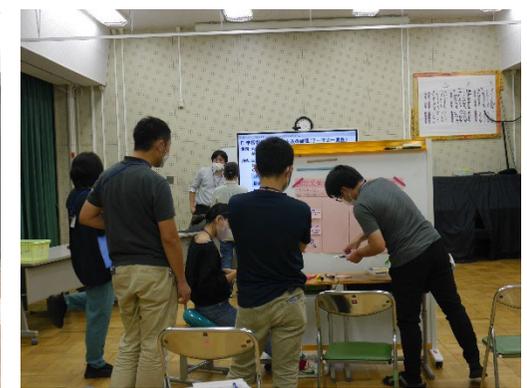


## 全校研究について

今年度から3年間の研究主題を「知的障害特別支援学校における教育課程の編成と評価の一体化」と設定し、教育課程の編成と客観的評価の道筋を検討します。副題を1年次は「授業の見直しに基づく個別最適な学びの基礎作り」、2年次は「個別最適な学びの実践に向けた年間指導計画の評価の視点づくり」、3年次は「個別最適な学びを実現する年間指導計画の再構築」とし、「教育課程の編成と評価の一体化」を確立して、児童生徒にとっての個別最適な学びを実現していきたいという思いを込めて設定しました。

今年度は、各教員の学習指導案を見直し、その内容を各学部で共有するところから研究を始めました。その中で、「教育課程の位置づけ」や「シラバス作成の意義」、「シラバスの位置づけ」について確認し、「学習指導案の見直しの観点表づくり」と「シラバス作成」を進めています。「学習指導案の見直しの観点表づくり」は、この観点表を通して、教員が授業づくりで大切な観点を振り返りながら、児童生徒にとっての個別最適な学びができる授業づくりにつなげていけるように取り組んでいます。また、「シラバス作成」では、本校版の学習指導計画であるシラバスを作成し、児童生徒の12・6・3年間の学習の積み上げを明確な系統性のある学習計画に則つとすることで、個別最適な学びができる授業づくりにつなげていきたいと考えて取り組んでいます。

今年度は、12月26日(月)にオンラインでの研究大会(1年次)を予定しています。そこでは、全国の先生方に本校の研究を発信するとともに、ご意見やご質問を受けて、今後の本校の研究活動に活かしていきたいと考えています。



## 本校研究主題(令和4年度~6年度) 「知的障害特別支援学校における教育課程の編成と評価の一体化」

